



2025年3月18日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 C a s a
代 表 者 名	代 表 取 締 役 社 長 宮 地 正 剛 (コード番号:7196 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先	執 行 役 員 経 営 管 理 部 長 夏 川 賢 淑 (TEL.03-5339-1143)

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年9月17日に公表しました「中期経営計画」について、経営環境の変化や計画の進捗状況を踏まえ、当社グループ全体のさらなる成長と企業価値の向上を実現するために、一部見直しを行いましたので、お知らせいたします。

内容の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

株式会社Casa

---

# 中期経営計画

証券コード：7196



Casa

## 中期経営計画の考え方

### ■ 中期ビジョンの目的

中期経営計画は、企業の成長戦略や目標を明確に示すものであり、社員が共通の価値観を持ち、一体となって行動するための道標となります。中期経営計画2025では、「保証DXの推進」を掲げ、企業理念や行動規範を具体化し、組織文化のさらなる進化を目指します。



「三方よし」の精神を基盤としてすべての人々にとって価値あるサービスを届けます

#### お客様



お客様本位のホスピタティ・信頼・安心の提供・新しいサービスへの期待

#### 投資家



健全な経営基盤と安定配当・積極的なディスクロージャー・コンプライアンスの遵守

#### 社員



誠実な人材が育つ環境先進性とチャレンジ精神やりがい、働きがいのある環境

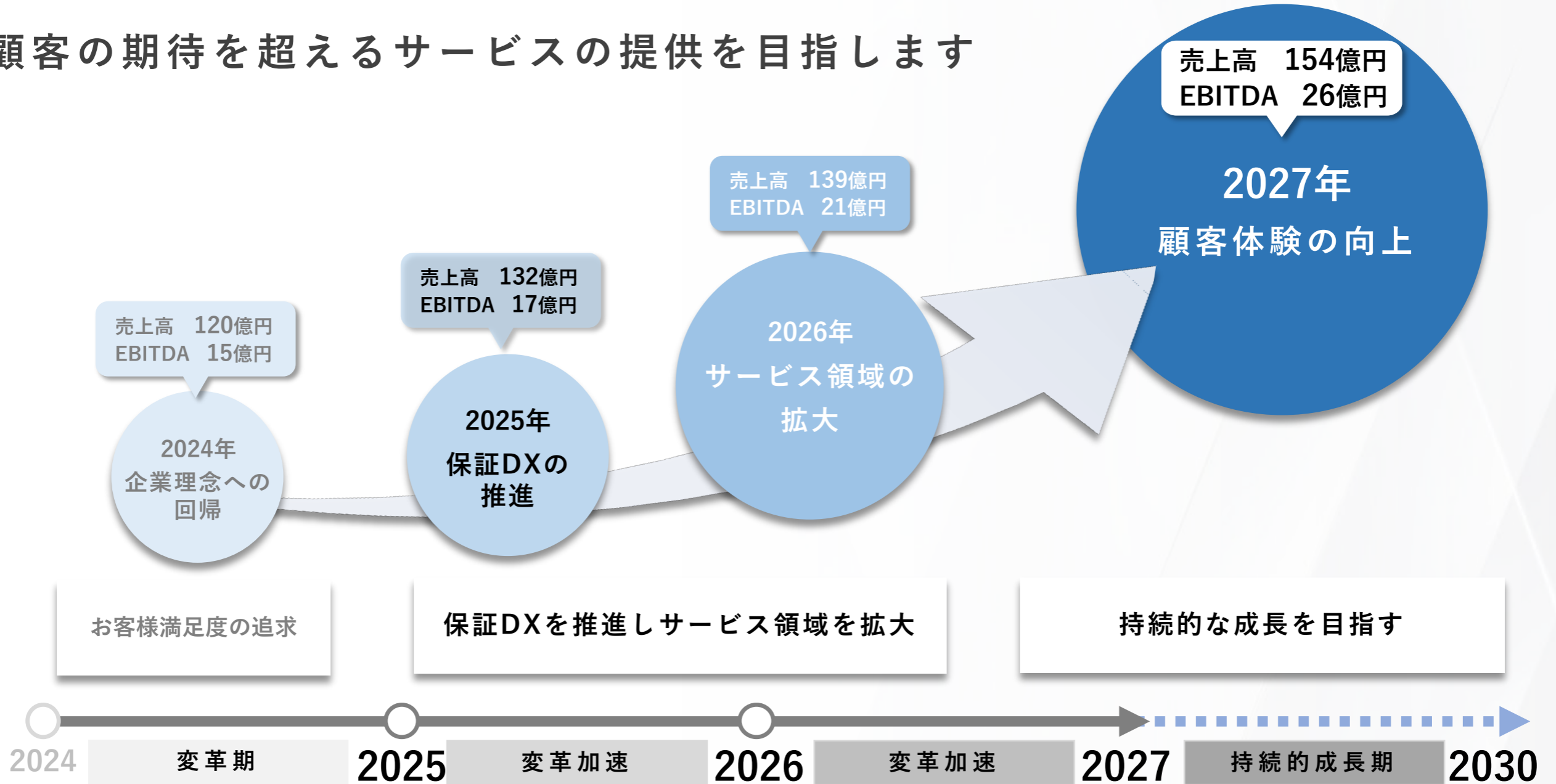
#### 社会



暮らしに貢献するインフラ社会との幸せな関係構築「住」を通じた社会貢献

成長ストーリー

顧客の期待を超えるサービスの提供を目指します



## 中期経営計画の修正

### 旧計画 (FY2025 ~ FY2027)

単位：百万円

	FY2025	FY2026	FY2027
売上高	12,878	13,988	15,424
営業利益	677	1,283	1,956
営業利益率	5.3%	9.2%	12.7%
EBITDA	1,333	1,909	2,592

### 新計画 (FY2025 ~ FY2027)

単位：百万円

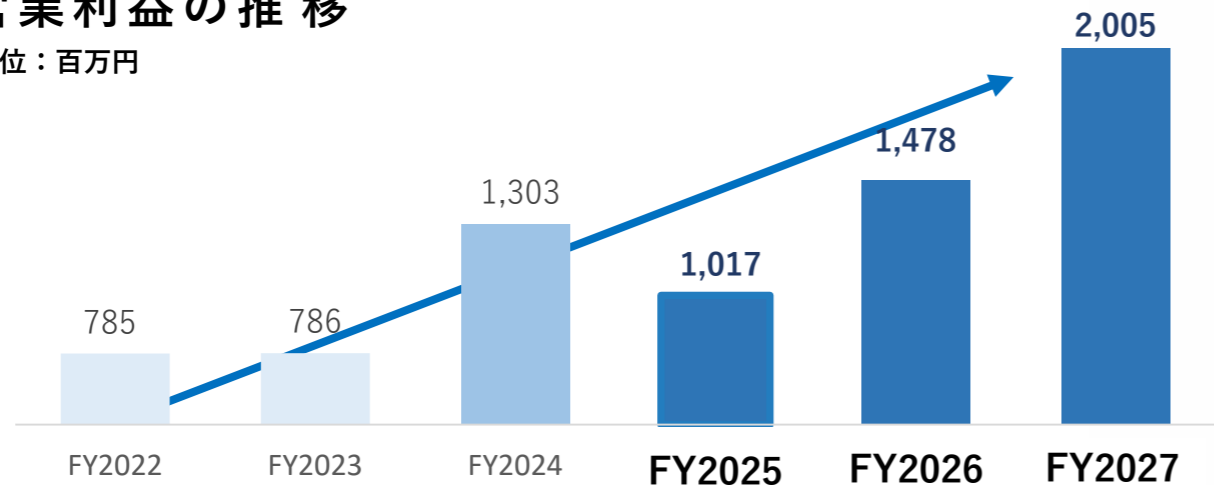
	FY2025	FY2026	FY2027
売上高	13,236	13,988	15,424
営業利益	1,017 (50.2%UP)	1,478 (15.1%UP)	2,005 (2.5%UP)
営業利益率	7.7%	10.6%	13.0%
EBITDA	1,720 (29%UP)	2,104 (10.2%UP)	2,642 (1.9%UP)

貸倒引当金の見積りを見直し、引当金を現状に最適な水準に変更しました。  
貸倒引当金の見直しに伴い、中期経営計画を修正することにしました。

## 営業利益・EBITDAの推移

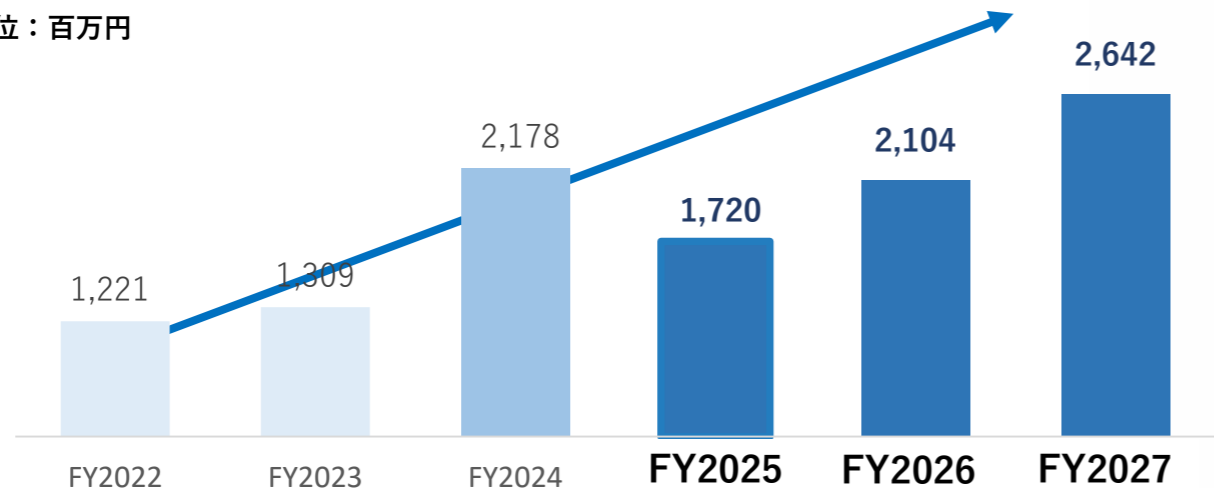
### 営業利益の推移

単位：百万円



### EBITDAの推移

単位：百万円



## 売上高・利益の拡大

### Casa

#### 取引先の拡大、保証DXの推進

- ✓ 営業人員の増加と営業トレーニングで代理店開拓及び既存先の利用を強化
- ✓ 督促オペレーションの効率化と管理体制の強化により債権の圧縮を図る
- ✓ 各部門の採用拡充と業務の見直し及びBPO対応で組織基盤を整えていく

### COMPASS

#### 家主サービスの拡充、自主管理システムの開発

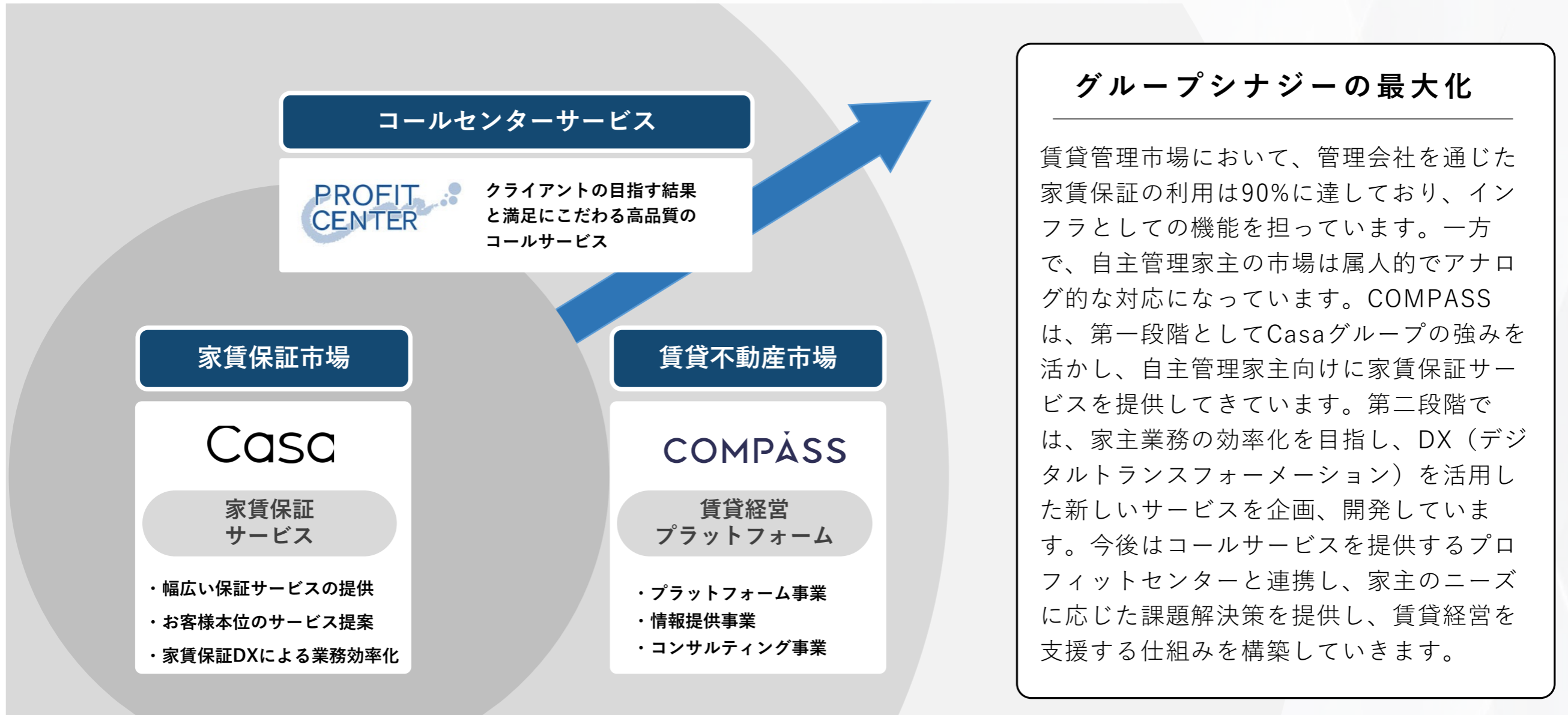
- ✓ 家主ニーズに応えるサービスラインナップの拡充と体制の構築
- ✓ 家主向けの管理システムの開発で利便性向上と業務効率を向上
- ✓ 周辺サービスの拡充とビジネスパートナーとの協業を強化  
※家主市場のDX推進で持続的な成長を目指していく

### プロフィットセンター

#### サービスレベルの更なる向上

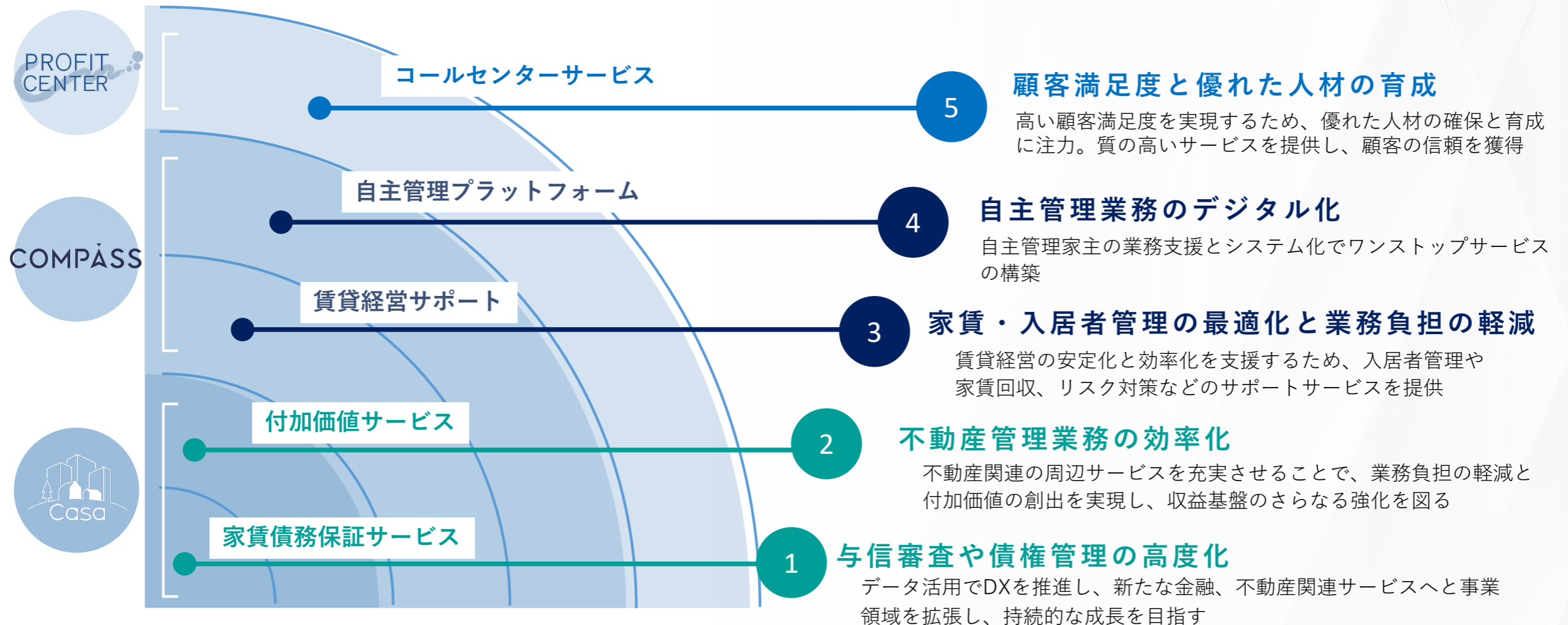
- ✓ スクリプトのPDCAと個別スタッフ研修で対応品質の向上を図る
- ✓ マルチチャネル対応を強化し、迅速かつサービス範囲の拡大
- ✓ マーケ及び顧客分析を強化し、業務改善及びコストの最適化につなげる

## ビジネスドメインの拡張



## Casaグループの成長モデル

家賃保証サービスを基盤とした強みを活かしながら新たなビジネスモデルを段階的に展開していくことで、継続的な成長を実現していく。



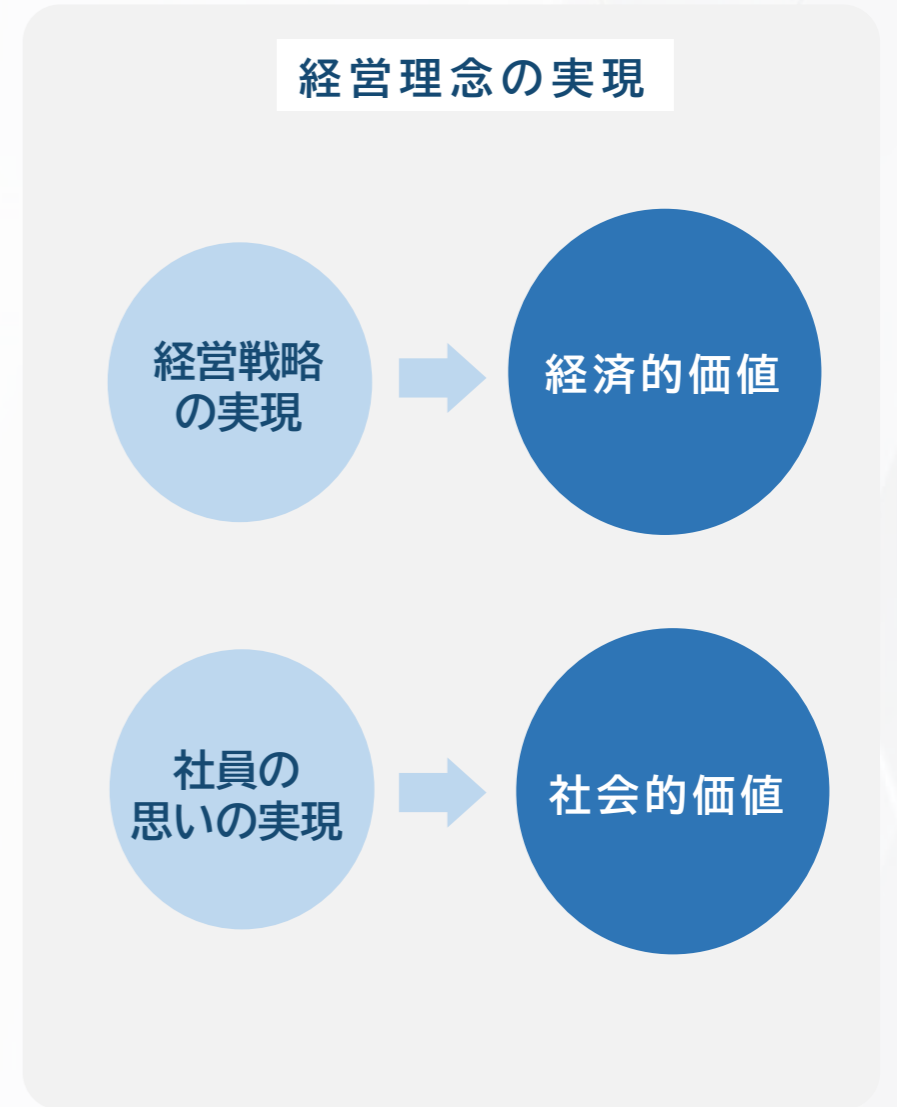
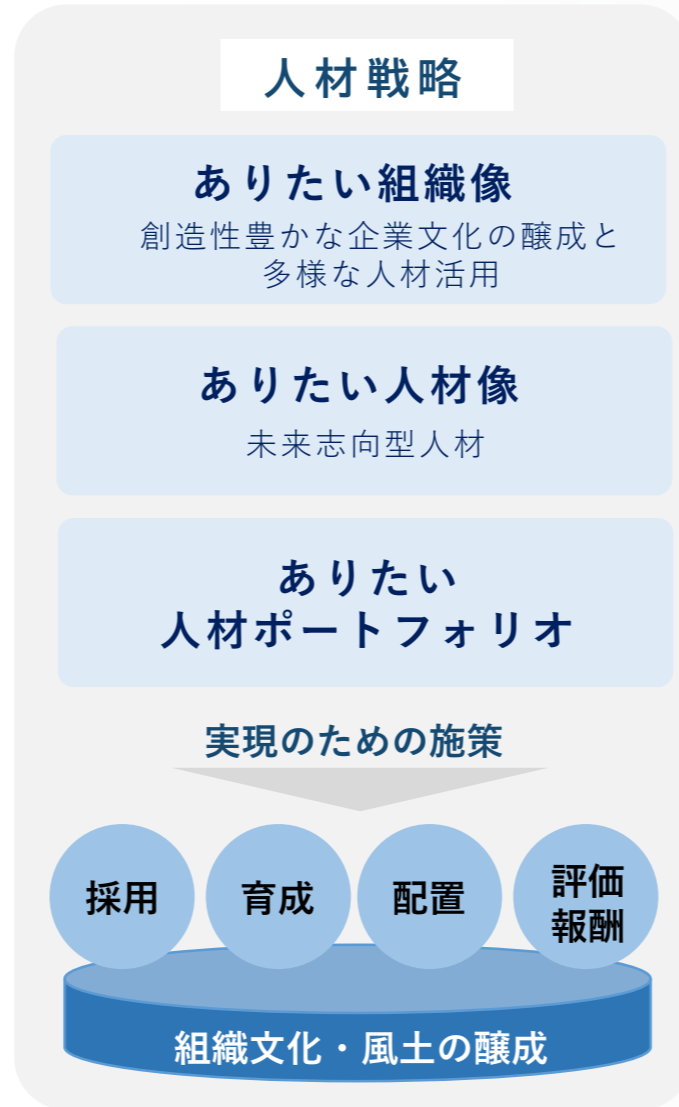
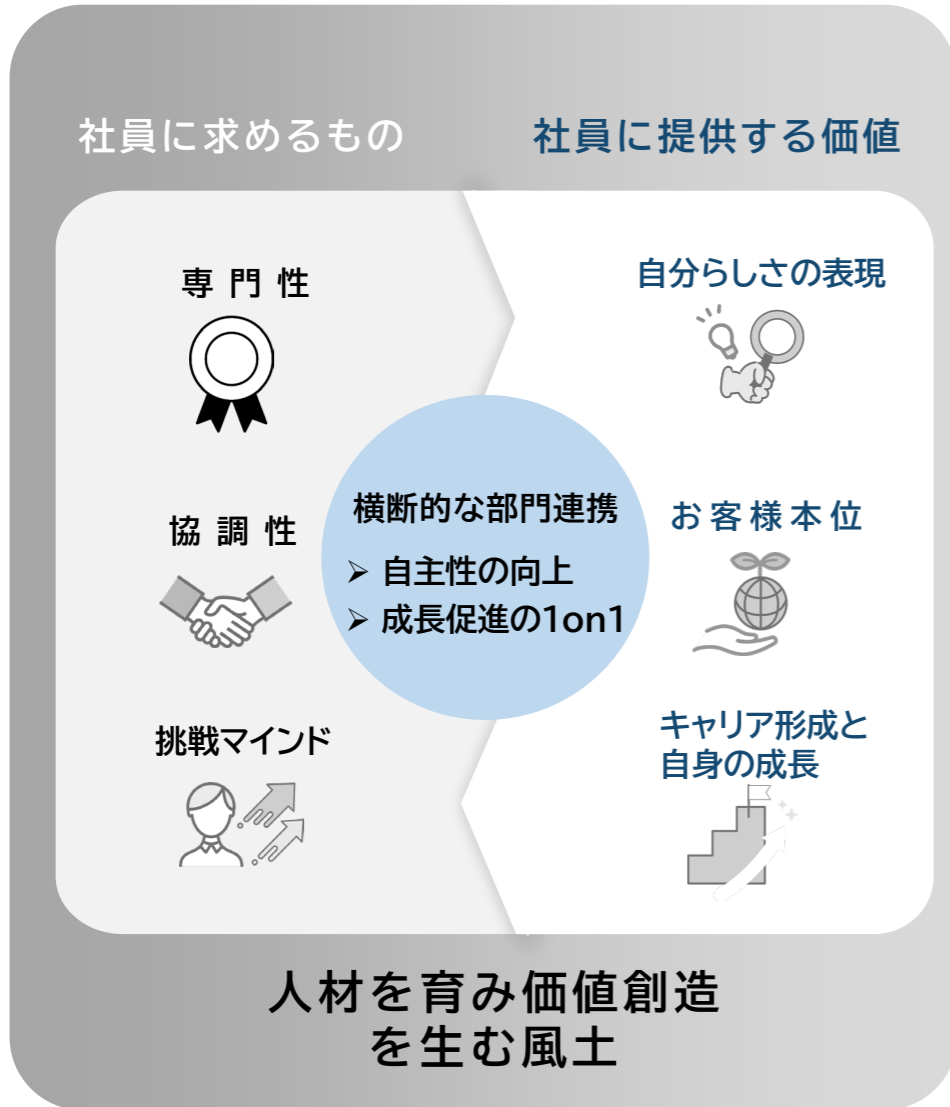


# 組織戰略

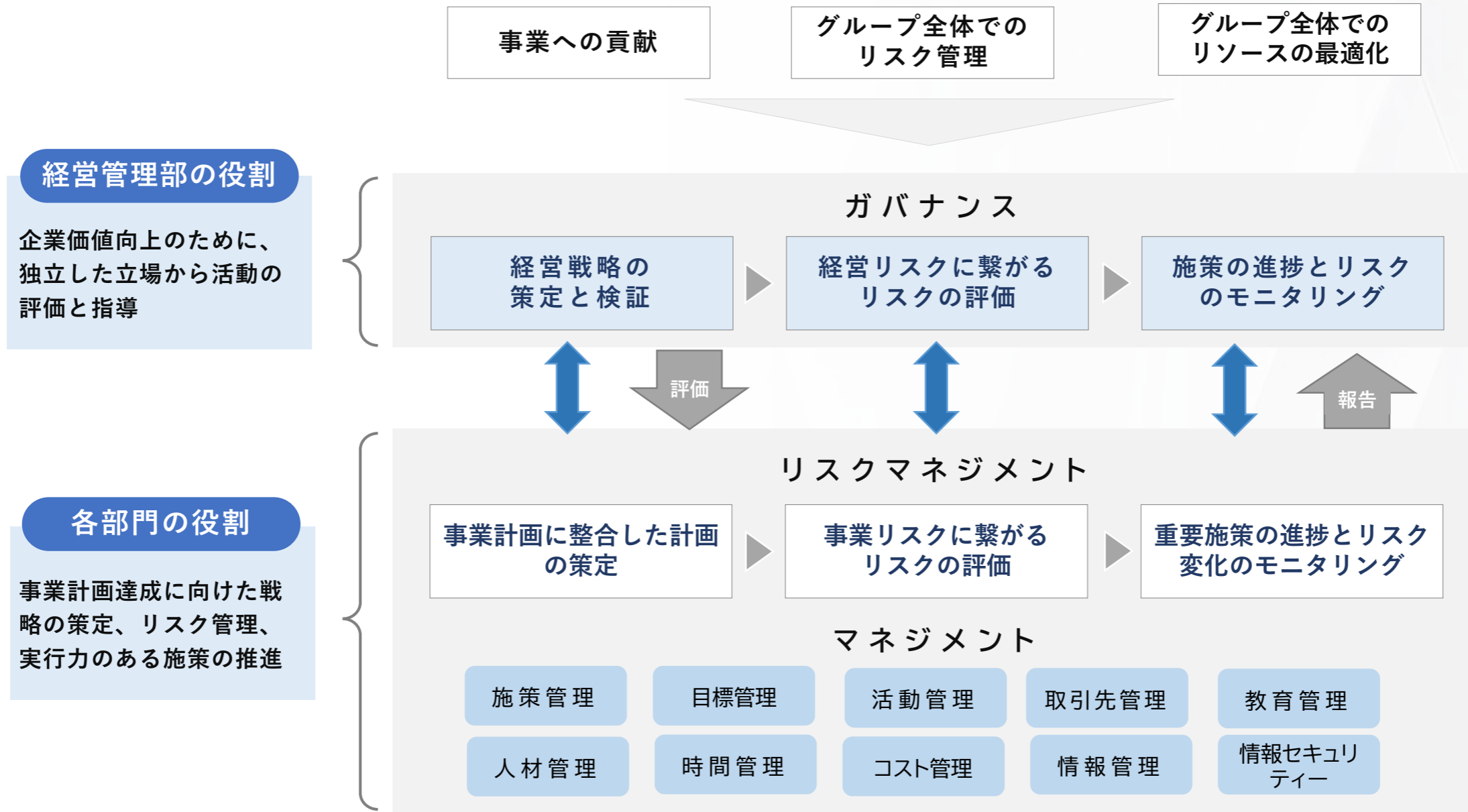
organizational strategy



# 人材を育み価値創造を生む風土の醸成



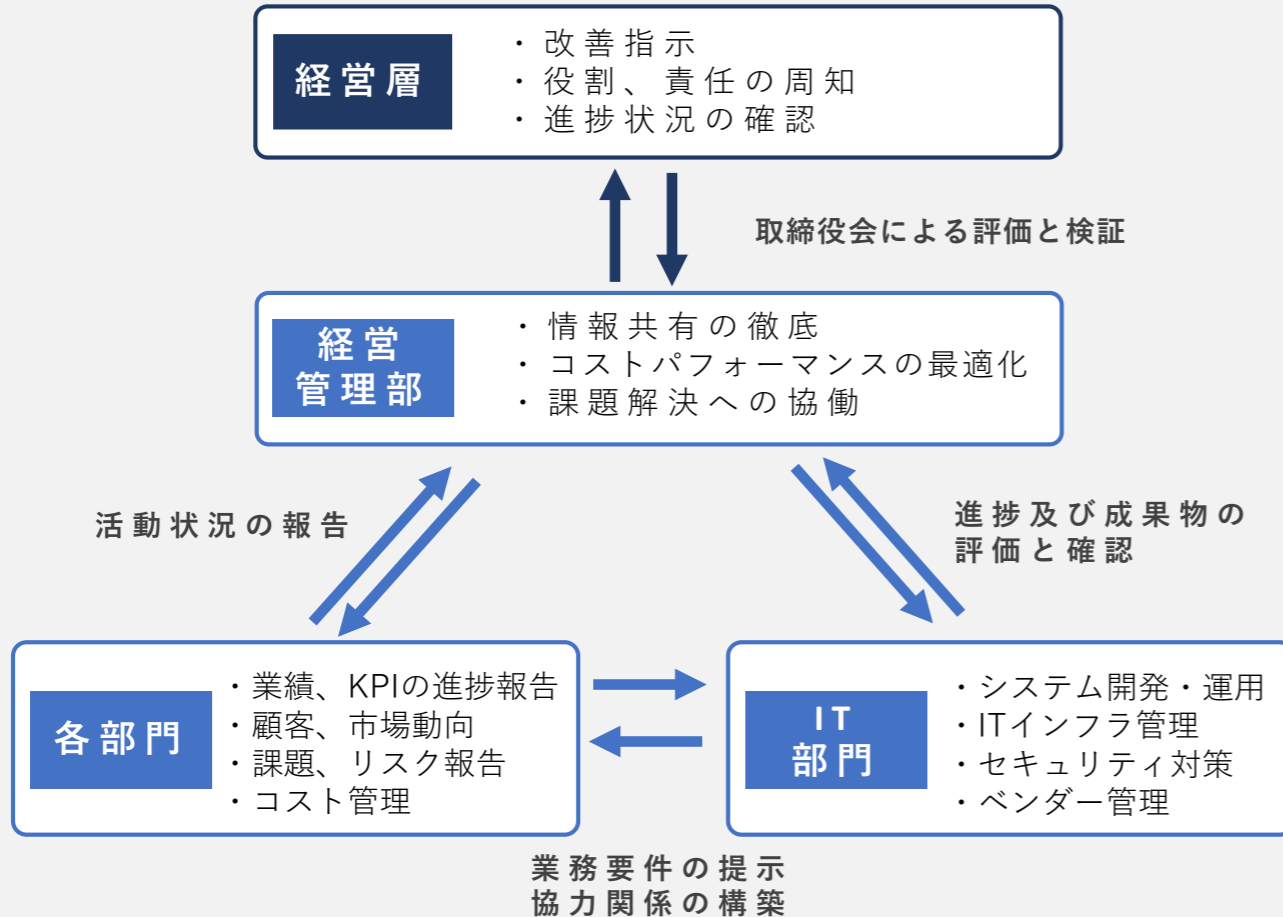
# 組織体制・環境の強化



# 管理部門の強化

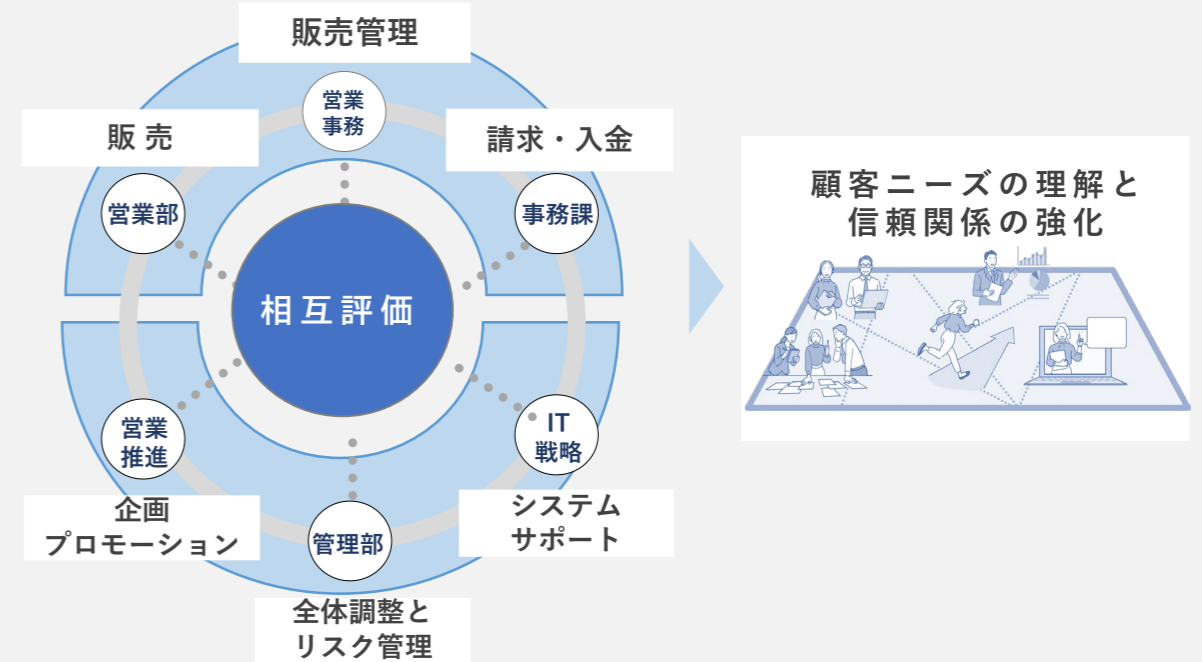
## 経営層との連携

### 経営層から執行部門までのスムーズな連携



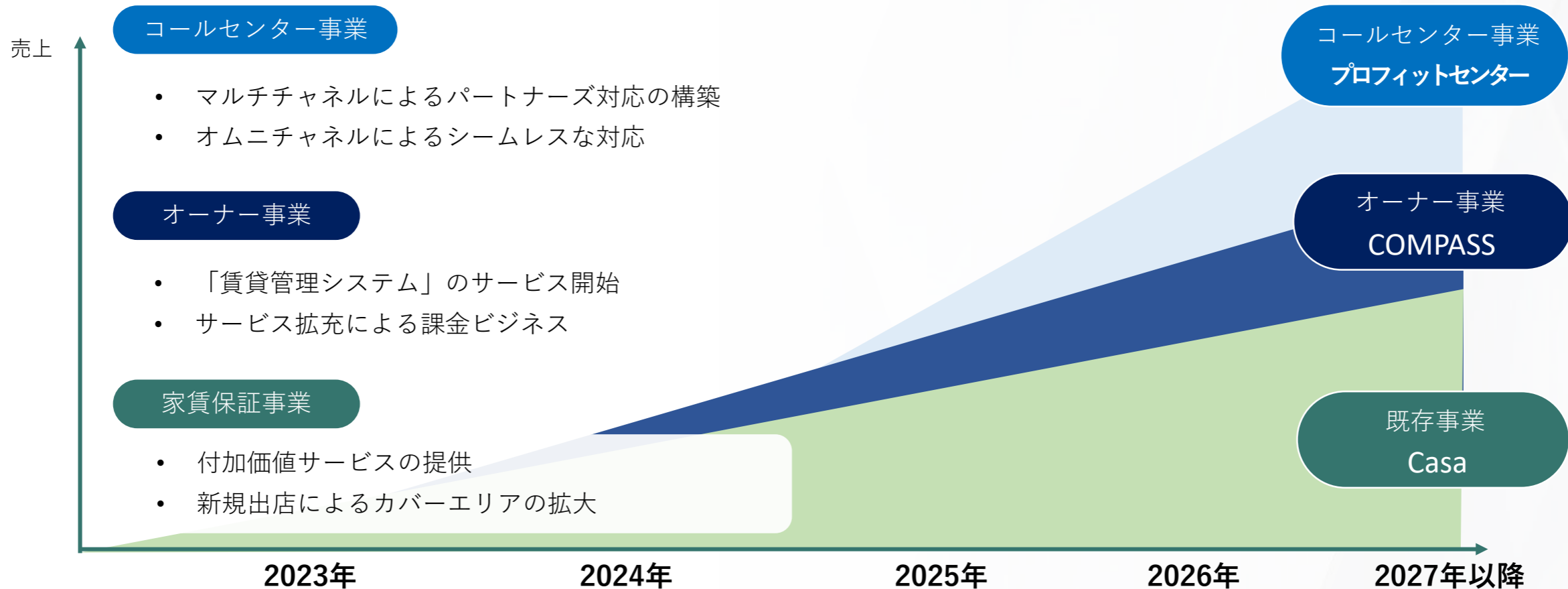
## 相互評価で機能的な体制構築

### 情報連携で組織全体の最適化進化



## 中長期的成長イメージ

既存事業の収益力強化と顧客拡大に資産の有効活用を図り、  
グループ全体のシナジーを活かし、事業成長に取り組んでいきます。



## ご留意事項

---

- 本資料は、当社の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。
- すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
- 当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2025年3月18日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。